

大里中学校 家庭科シラバス 3 学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「東京書籍」
補助教材「沖縄県版 家庭分野パート2」

（ねらい）

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

- ・購入方法や支払い方法の特徴を理解し、計画的な金銭感覚を工夫することができるようにする。
- ・自立した消費やとして消費行動について問題を見いだして、解決する力を身につけられるようにする。
- ・環境に配慮しながら自分できるエコ活動に取り組む態度を育てる。
- ・幼児触れ合い体験を通して、幼児の発達の状況に応じた関わり方を工夫しながら問題を解決する力を身につける。
- ・家庭や地域の人々と協働し、よりよい生活を実現しようとする態度を養う。

2 授業の進め方

- ・教科書『新しい技術・家庭科 家庭科分野』（東京書籍）の内容を使用して授業を進めます。
- ・家庭科ノートとオリジナルプリントを中心とした授業を進めます。
- ・授業で行う章テスト、単元テスト等を利用して理解の定着を図ります。
- ・授業内でタブレットを活用した復習問題を行う場合もあります。
- ・実験や実習などの体験的学習もあれば、講師を招待しての取り組みも進めます。
- ・課題の内容に応じて、個人→ペア→グループでの取り組みもあります。
- ・タブレットを利用した課題の取り組みも行う場合があります。

3 学習上の留意点

- ・生活と直接つながる教科なので、学習課題に対して自分なりの問いを持ち、解決するためにはどうしたらいいかを考える。
- ・交流体験では、自分の役割に責任をもちながら班で協力して取り組む。
- ・オリジナルプリントやノートを中心とした授業なので、大事なポイントや気づいたことなどはメモをとる習慣をつける。
- ・実生活とつながる教科なので、習ったことを実際に実践しようとする姿勢を持つこと。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・家庭科ノートを中心に授業を進めていくので、予習・復習に活用してください。その際、授業内で

5 テスト

- ・章テストや単元テストは、教科書やノートを中心に出題する。
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付けている。	家族。家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	自分と家族、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
方法	・章テスト ・単元テスト等 ・レポート	・章テスト、単元テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・各種提出物 ・レポート	・課題 ・各種提出物 ・振り返り ・学びに向かう姿勢

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1学期	4	5編1章：私たちの消費生活 ①消費者としての自覚 ②購入方法と支払い方法 ③バランス良く計画的な金銭管理 ④消費者トラブルとその対策	<ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう姿勢 ・振り返り ・課題 ・レポート ・各種提出物 ・授業の様子や発言等 ・章テスト ・単元テスト等 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した消費者としての消費行動について、問題を見いだして課題を設定することができる。 ・購入方法や支払い方法の特徴を理解できる。 ・自分のあった金銭管理の方法を考えまとめることができる。 ・消費者に関わるトラブルについて調べ、その解決方法について簡潔にまとめ、発表することができる。
	5			
	6			
	7			
2学期	9	5編2章：責任ある消費者になるために ①何を考えて決めますか /意思決定プロセス ②消費者としてできること /権利と責任 5編3章：持続可能な消費生活 ①省エネルギーと持続可能な社会 ②持続可能な消費生活を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう姿勢 ・振り返り ・課題 ・レポート ・各種提出物 ・授業の様子や発言等 ・章テスト ・単元テスト等 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の基本的な権利と責任について理解できる。 ・家庭でできる省エネルギーについて具体的な方法を考えまとめることができる。 ・家族や地域の人々の協力・協働して家庭生活を営む必要性を理解できる。
	10			
	11			
	12			
3学期	1	6編2章：幼児の生活と家族 ⑧幼児との関わり方の工夫 ★生活の課題と実践	<ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう姿勢 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活がより豊かになるような課題を考え、小物を製作することができる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作することができる。 ・幼児との関わり方について理解できる。 ・体験学習では、自分なりの課題を持って、幼児との関わりができる。
	2			